進路だより

福島県立たむら支援学校
進路指導部通信　第２号
令和元年　12 月　24 日

後期産業現場等における実習を実施しました

本校では、キャリア教育のもとに望ましい勤労観、職業観を育むため各学部にキャリア教育指導目標を設定しています。特に中学部、高等部においては職業教育の一環として産業現場等における実習を年間２回計画しております。中学部は校内で、高等部は校外や校内で実習を行いました。

中学部では、１１月６日（水）から、１５日（金）までの８日間、民間会社のご協力をいただき、ノック式消しゴムの委託作業に取り組みました。一人一人が毎日の目標を持つことで積極的に取り組めたようです。前期に行われた産業現場等における実習よりもまた一歩成長した姿が見られました。





（中学部の実習の様子）

高等部では、１１月５日（火）から１５日（金）までの９日間で実習を実施しました。校内実習では、民間会社のご協力をいただき、カレンダー巻きと割りばし入れの委託作業に取り組みました。前期の実習では校内実習のみだった一年生は、今回の実習では１週間の校外での実習も経験しました。企業や福祉サービス事業所のご協力のもと、卒業後の進路や「働く力」について知り、自らの進路決定に向けて意識を高めることができました。





（高等部の実習の様子）